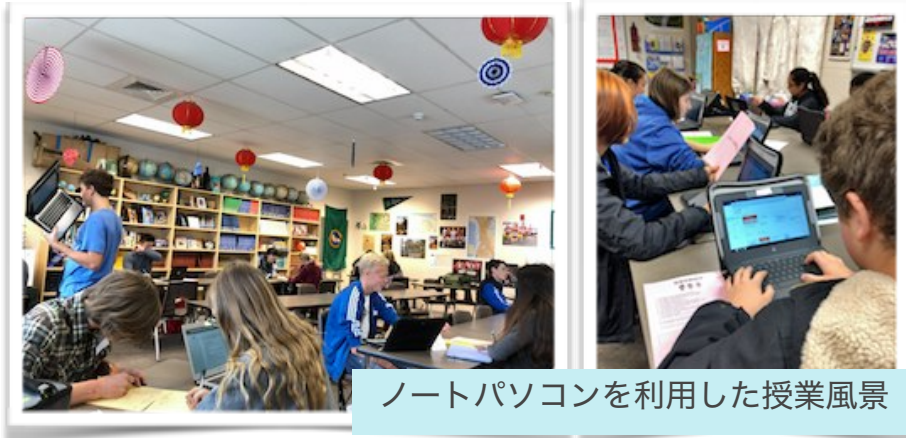


NOVEMBER 2018

Newsletter from WA

Kae Takaoka



ノートパソコンを利用した授業風景

ワシントン州では学校におけるテクノロジーの活用が義務付けられており、小学校から高校までインターネットを活用した授業展開や学校運営が定着しています。

私が勤務する高校では生徒一人ひとりにノートパソコンが無料で配布されており、校内のWi-Fiに接続して、授業中に調べ学習を

したり、書類を共同編集したり、考査を受験したり、予習・復習をしたりすることができます。必要な情報がインターネット上に公開されているため、授業進度や学習到達度について透明性が高く、授業内容や成績をいつでもウェブサイトから確認できるようになっています。また、教師間のやりとりだけでなく、保護者への連絡や懇談会の出欠確認などもメールやウェブ上で行えるので効率的です。テクノロジーの活用は小学校から始まっており、生徒は授業を通じて日々コンピューターリテラシーを身につけられるようになっていきます。

さて、日本で11月23日と言えば勤労感謝の日、皆さんにとっては県農祭という一大イベントがある日ですね。アメリカでは11月の第3木曜日はサンクスギビング（感謝祭）という大きな祝日です。今年は11月22日がその日にあたります。起源はアメリカの先住民と最初の移住者の間で祝われた収穫祭だそうですが、今では家族と一緒に過ごすための大切な祝日で、伝統的な七面鳥の料理でお祝いします。11月は収穫の秋、県農の収穫物も多くの地域の方に喜んでもらえるといいですね。



七面鳥の料理

SALMON RETURNING HOME / 鮭の遡上

大自然が残るワシントン州には野生の鮭が川に戻ってきたり、実際に鮭の遡上が見られる場所が数多く存在します。毎年、9月から11月にかけて、紅鮭やキングサーモンなど何種類もの鮭が海での生活を終えて、ワシントン州の河に戻ってきます。少し郊外に行けば実際に遡上する姿を目にすることも難しいことではありません。身体に傷を負いながらも懸命に遡上しようとする姿は圧巻です。小学校ではサーモンスタディと言って鮭の生態や環境問題について勉強したり、校外学習に行ったりする時間が組み込まれており、鮭が帰ってくる姿は子供の頃からワシントン州の人々にとっては親しみのある風景のようです。